

## 8 - 1 中国・四国地方の上下変動

### Vertical Crustal Movements in the Chugoku and Shikoku Districts

国土地理院  
Geographical Survey Institute

第1図～第2図は、近畿・中国・四国地方のGPS連続観測局の東伯観測局に対する変位である。第1図は、1994年10月から1995年7月までの10ヶ月間の変位である。兵庫県南部地震の震央周辺の観測局の変位は、コサイスマミックな変動が大部分である。紀伊半島、四国から九州にかけて北西から西向きの変位が見られる。フィリピン海プレートの沈み込みの影響と考えられるが、プレート運動モデルより予想される運動ベクトルよりはやや西向きである。中国地方の観測局の変位は小さい。第2図は、兵庫県南部地震後の約半年の変位である。兵庫県南部地震の震源域の近くの観測局は、変位が小さくなった。宮津は第1図の変位とほぼ同じで、地震後に変位が大きかったと推定される。紀伊半島や四国の変位の傾向は変わらない。

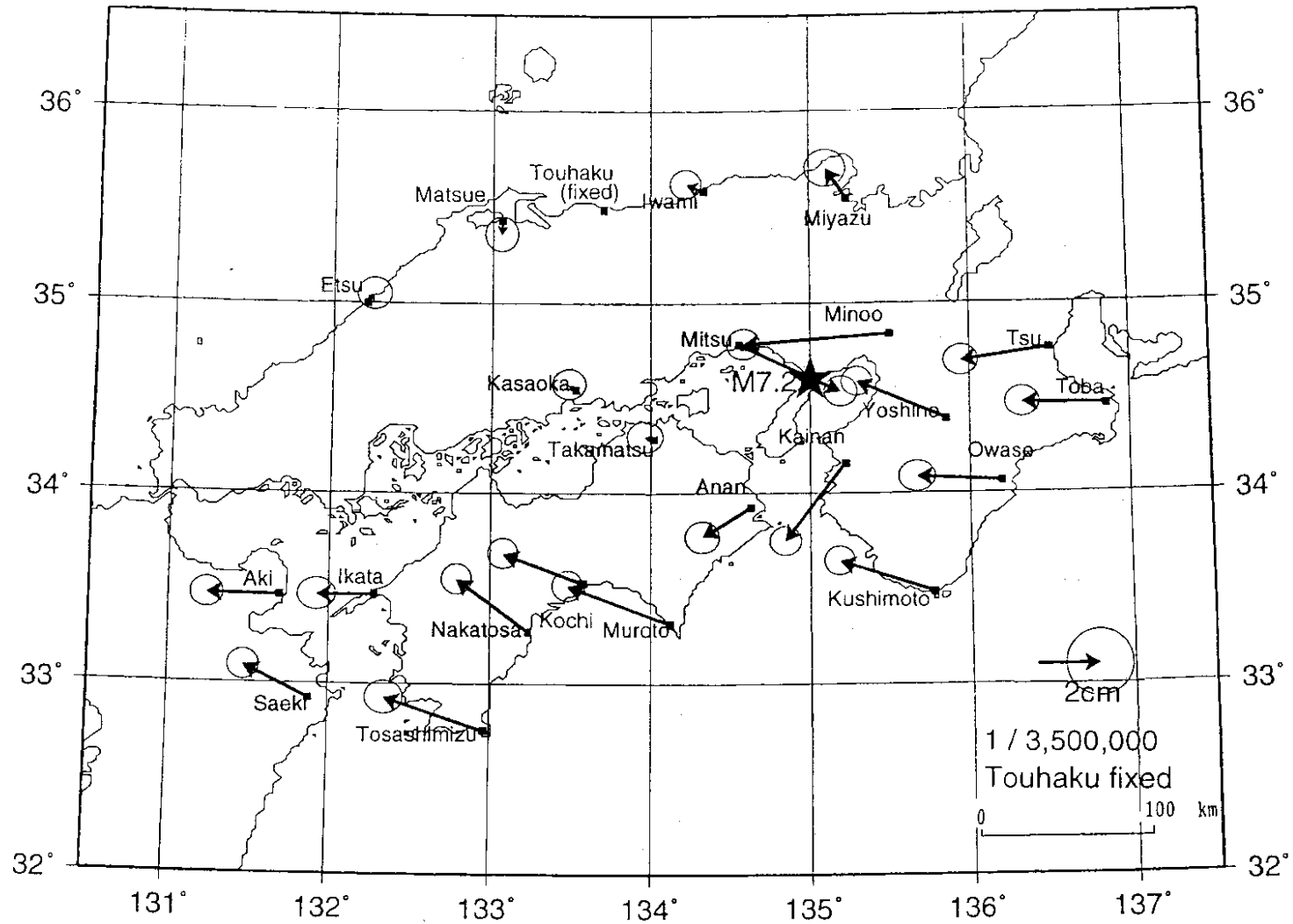
第3図は、山陰地方各験潮場間の月平均潮位差である。特に顕著な変動は見られない。

第4図は、瀬戸内西部の験潮場間の月平均潮位差である。最近1年間は、特に大きな変動は見られない。

第5図は、四国地方各験潮場間の月平均潮位差である。室戸岬、土佐清水等南海トラフに面した験潮場の沈降が継続している。

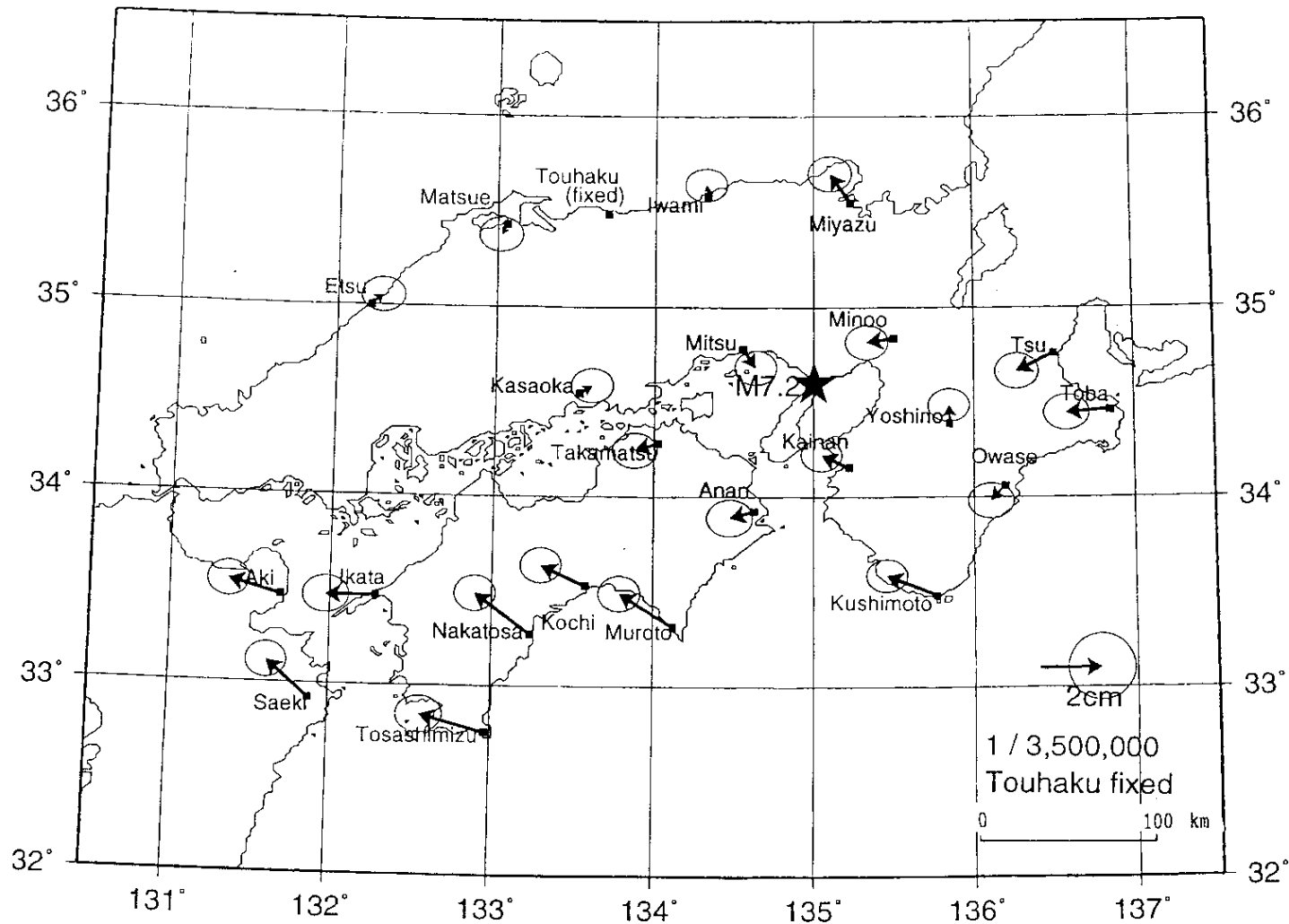
### 参 考 文 献

- 1) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，51（1994），642-649．
- 2) 国土地理院：中国・四国地方の地殻変動，連絡会報，52（1994），499-508．
- 3) 国土地理院：中国・四国地方の上下変動，連絡会報，53（1995），631-637．
- 4) 国土地理院：中国・四国地方の上下変動，連絡会報，54（1995），757-761．

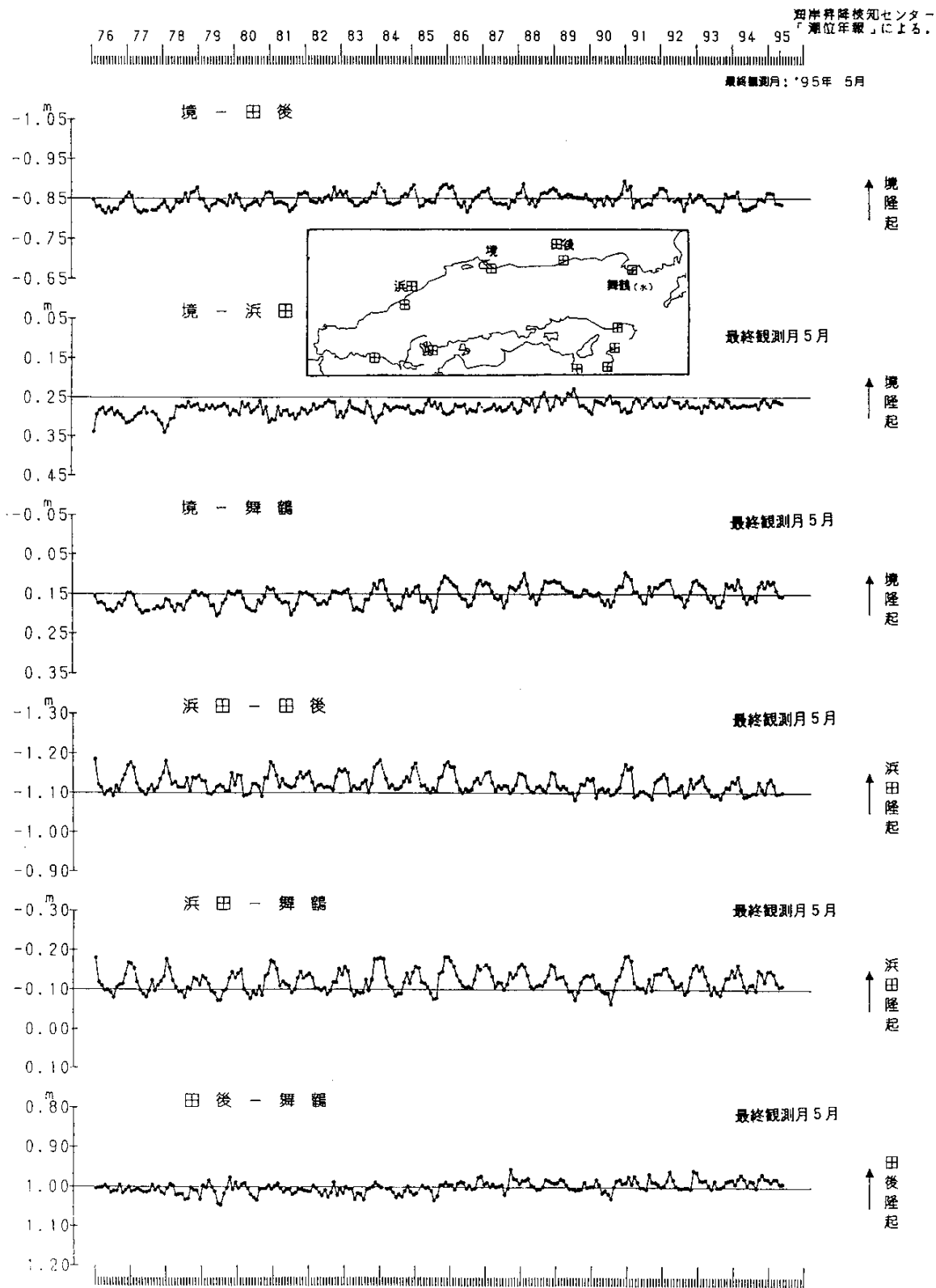


第1図 近畿・中国・四国地方のGPS連続観測局の変位：1994年10月4日～1995年7月29日（IGS暦使用による）

Fig. 1 Displacements of continuous GPS observation stations : October 4 1994-July 29, 1995 (using IGS ephemerides).

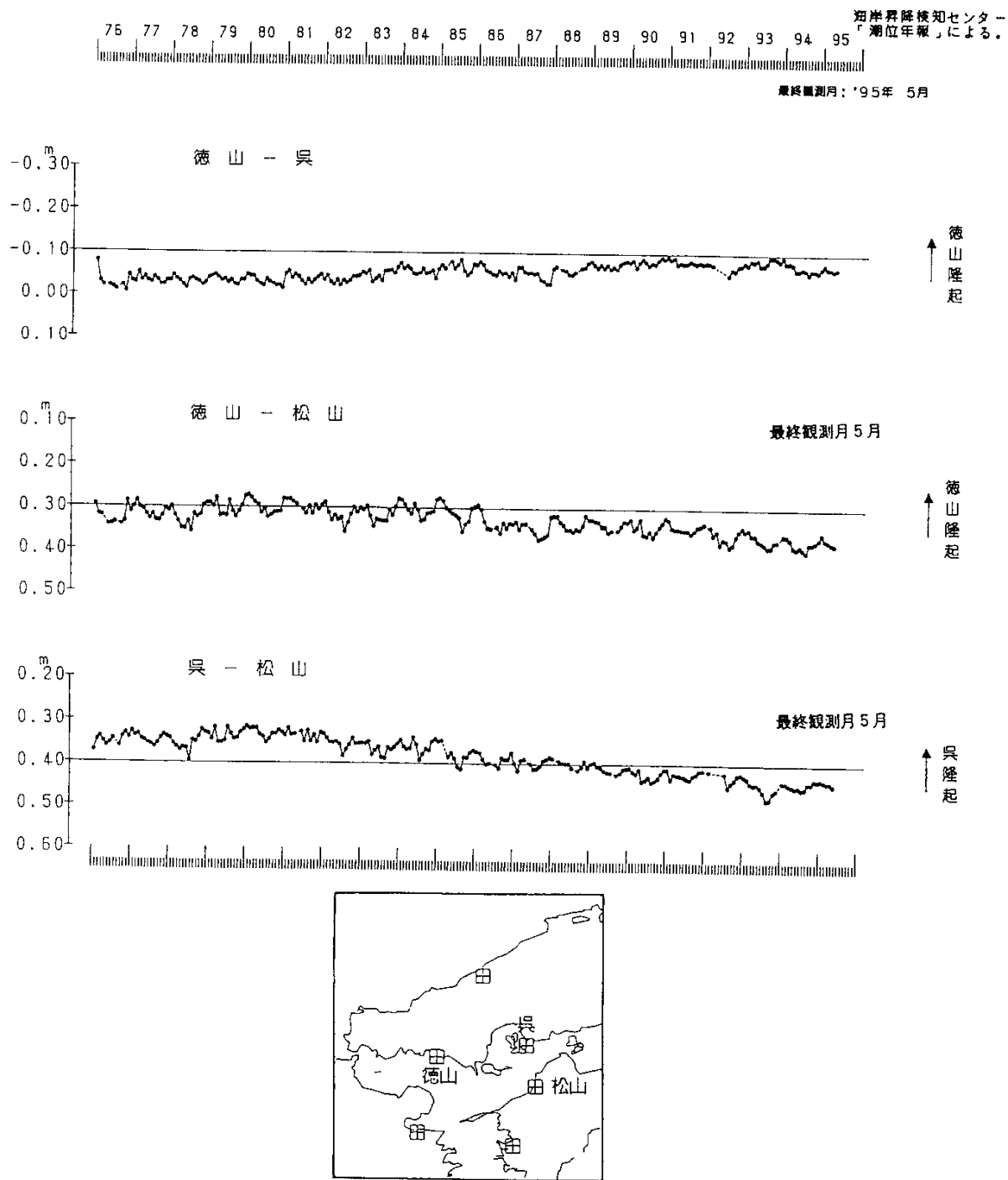


第 2 図 兵庫県南部地震以降の近畿・中国・四国地方の GPS 連続観測局の変位：1995 年 1 月 21 日～1995 年 7 月 29 日（IGS 暦利用による）  
 Fig. 2 Displacements of continuous GPS observation stations after the occurrence of the Kobe earthquake : January 21, 1995-July 29, 1995  
 (using IGS ephemerides).



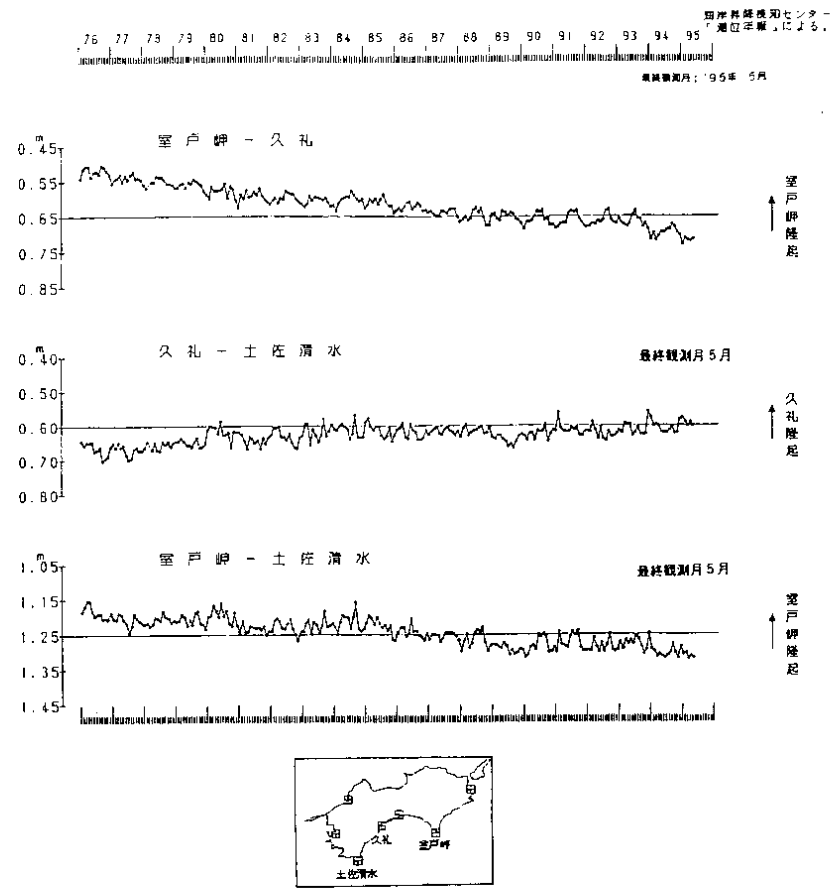
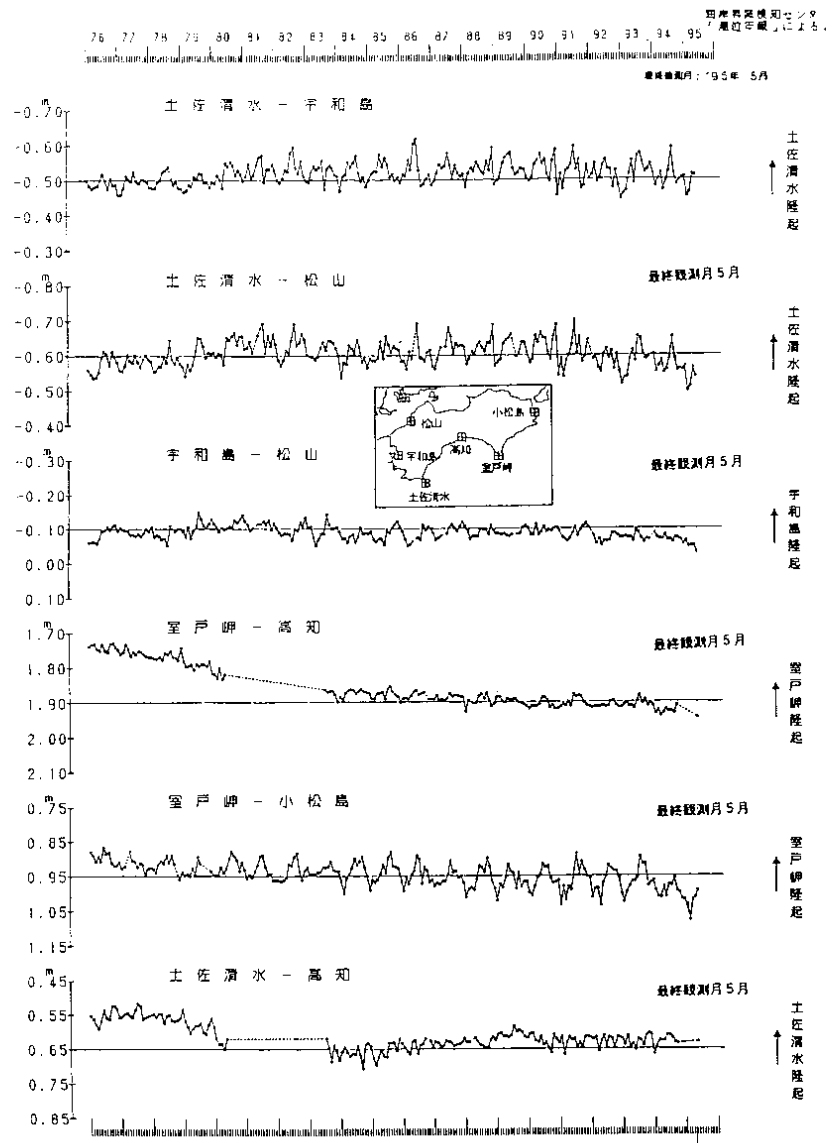
第3図 山陰地方各験潮所間の月平均潮位差

Fig. 3 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the Sanin district.



第4図 瀬戸内海西部地方各験潮所間の月平均潮位差

Fig. 4 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the western Seto Inland Sea region.



第 5 図 四国地方各観測所間の月平均潮位差

Fig. 5 Differences in monthly mean sea levels between pairs of tide stations in the Shikoku district.